

# 「小児小腸バルーン内視鏡に関する実態調査：治療内視鏡・腹部術後内視鏡の有効性と安全性」

## 1. 研究の対象

2017年4月1日～2020年3月31日の3年間に19歳未満の患者を対象として施行した小児小腸バルーン内視鏡の詳細、偶発症

## 2. 研究期間

2021年1月～2021年10月31日

## 3. 研究目的・方法

小腸バルーン内視鏡の実施調査に加え、治療内視鏡、腹部術後腸管における小腸バルーン内視鏡、小腸バルーン内視鏡実施におけるハイリスク症例についての有効性と安全性を調査します。

## 4. 研究に用いる試料・情報の種類

対象者について、以下の項目の調査を行います。

- ・症例：年齢、性別、身体所見、症状、既往歴
- ・小腸バルーン内視鏡：件数、前処置、鎮静、施行時間、透視時間、治療内容、偶発症

## 5. 外部への試料・情報の種類

本研究で得られた結果は、日本小児小腸内視鏡検討会、日本小児栄養消化器肝臓学会などで公表する予定であり、公表する結果は統計的な処理を行ったものだけとし、研究対象者の個人情報は一切公表しません。

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

〒989-3126 仙台市青葉区落合4丁目3-17

電話：022-391-5111（代表）

研究責任者：宮城県立こども病院 総合診療科・消化器科 角田文彦